

私たちに何ができる? 悲しい運命の イヌ・ネコをゼロに!



**ペットを飼うのは
子育てと同じくらいの覚悟が必要**

悲しい運命を辿るイヌ・ネコがいます。飼う人のマナーさえしっかりしていれば、そういう運命は避けられたはず。リビングまつやはでは、イヌ・ネコとの暮らしを考えるためにシリーズで関係機関の紹介やマナーなどについて特集します。

飼い主さんのマナーさんじゅかり守られていれば彼らの運命は変わったかもしません。

年間5000頭以上の処分 こういう運命を避けることはできないのか

愛媛県動物愛護センターで処分された頭数は、平成21年度は55563頭(松山市からの送致分も含む)。

センター開設以来、5万頭以上がその対象に。

彼らのうち、飼い主がいて飼育放棄されたのが2割、捕まえたり飼い主不明の場合が8割、管理棟に収容され約5日程度で殺処分に。「ボタン一つで死んでしまう。でも押すことに慣れる事はありません。厳しい現実です」と同センターの岩崎靖業務課長。

不幸な運命を辿るイヌ・ネコの数をゼロに近づけるためにはどうしたらいいのか。飼い主として、地域住民として一人ひとりが考えたい問題。同センターをはじめ、松山市保健所やNPO法人などが、譲渡会、適正な飼い方の指導、啓発活動を行っています。

同センターは、平成18年度から、メディアの報道、専門学校の見学、実習、ボランティアなどの受け入れ、各団体と連携した啓発活動を行い、19年度以降、殺処分は減少傾向に。

不幸な命が生まれる数も減り、譲渡子犬も減少する反面、子犬の譲渡を受けたい人は増加傾向にあるのが現状。一方で、成犬の譲渡を希望する人は少なく、岩崎課長によると「手放されてここにきた成犬を譲渡するためには矯正期間も必要です」という現実も。

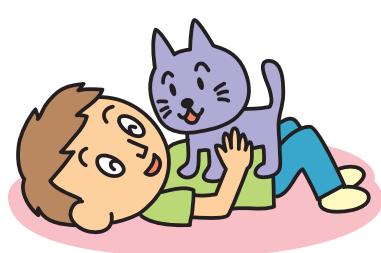
また、松山市保健所の阿部孝志主査は「高齢者の飼い主さんが、介護が必要になるなどの理由で飼えなくなるケースが増え懸念しています」。

NPO法人えひめイヌ・ネコの会の高岸ちはり代表は「イヌを飼い始める際、70歳くらいの方でも私は元気だから大丈夫と言われます。ペットが自分より長生きするかもしれないということを考えて欲しい。若い人も結婚したり、子どもさんがアレルギーで飼えなくなる可能性だってあるんです。長くて約20年、終生責任を持つて飼うことができますか?」と語ります。

ペットを飼う前に一度よく考えて! 長くて20年以上、「終生飼う」覚悟はOK?

愛媛県動物愛護センターの岩崎靖業務課長は「動物を飼うのは子育てと同じ。赤ちゃんが生まれる前に、勉強し、分からぬ事は人に聞いたり教えてもらうの一緒です」と。

さらに「動物は話ができないだけに日々気にかけることが大切。親が子を護るように、飼い主は動物を護る必要があります」。



大切なのは ペットの一生涯に責任を持つこと

②リビングまつやま 9月11日号

飼い主の心構えを
もう一度!

[飼う前に…]

●終生飼うことができますか?

20年先を考えて、自分も歳をとります。体力も衰えます。え代や予防接種などお金もかかります。結婚・出産など生活環境が変わると飼えなくなることもあります。

[飼い始めたら…]

●マナーを守り適正な飼い方を!

- 繁殖を望まない場合は、不幸なイヌネコを増やさないために去勢・避妊手術をする(病気の発生を防ぐことができる)
- イヌは登録と予防接種を
- 迷子札をつける
- イヌネコの生理状態を理解し、適正なしつけをしまなしを守った飼い方を。分からなければ聞く